

# 箕面市瀬川～茨木市豊川

● 歩行距離 / 10.8km ● 標準歩行時間 / 2時間42分 ※1時間4kmで計算しています



箕面市から茨木市へ国道171号に沿って進みます。道標が数多く建っているため、よい目印になります。街道からは離れますが古くからある霊山・箕面山は、ぜひ訪れたいところ。名刹・勝尾寺のほか滝や周遊路もあり、特に紅葉の頃には多くの観光客で賑わいます。小野原周辺は、街道の面影を残しています。

## 天児屋根命神社 通称:瀬川神社



藤原氏の祖神である天児屋根(あめのこやねのみこと)が祀られています。また、神社の境内にある井戸は、龍が水を飲んで天に昇ったという言い伝えがあり、井戸を「龍の井」と称し、この宮は「龍の宮」とも呼ばれています。入口脇には、木の根に飲み込まれた小さな祠があります。

## 瀬川半町立会本陣跡



半町から瀬川にかけて、街道は石畳風に整備されています。この周辺は宿場跡です。「山崎通分間延絵図」を見ると、細い路地を隔てて、瀬川本陣と半町本陣が位置し、その周辺に旅籠が何軒もあって、両本陣の間には高札場が描かれています。瀬川は中世から宿場として栄えていました。

## 牧落の高札場跡



西国街道と箕面街道が交差するこの場所は、人々が多く集まるため、江戸時代の御触書を掲示した高札場跡があり、2本の道標が建てられています。背の高い方の道標には大阪天満の天神と豊中の服部天神への距離が刻まれています。

## 勝尾寺★



勝運の寺・勝尾寺は、古来より霊力が宿る聖山として信仰されてきました。神亀4年(727)善仲・善算が草庵を構え、光仁天皇の皇子・開成(かいじょう)が弥勒寺を建立、六代座主の行巡上人のとき勝尾寺となりました。都心に近い癒しの寺、紅葉の名所としても知られています。

## ぼろ塚



「ぼろ」とは虚無僧のこと。ぼろ塚は、吉田兼好の「徒然草」第115段にある「宿河原」というところで敵同士であったぼろが出会って果たし合いをし、両方とも討ち死にした」という話に由来するといわれています。現在では、二人のぼろが果たし合いをした近くに「ぼろ塚」と刻まれた石碑が建っています。



## 箕面市立郷土資料館★



箕面の歴史について、銅鐸や西国街道、ゆかりの人物まで幅広く楽しく学べる資料館です。年4回テーマに合わせた企画展も行っています。  
開館時間▶10:00～17:00 入館料▶無料 休館日▶木曜、年末年始 ☎072-723-2235

## 牧落八幡宮



西国街道に面して、牧落八幡宮の鳥居があります。牧落地区の鎮守社で、応神天皇を祀っています。寛文2年(1662)山城国石清水八幡宮から分霊したのが始まりとされています。境内には寛文11年(1671)や延宝7年(1679)建立の燈籠の他、元禄11年(1697)建立の狛犬等の古い石造物があります。

## 萱野三平邸跡



忠臣蔵で「赤穂浪士48番目の義士」として知られる萱野三平の住居跡。三平は、仇討ちに加わる決意をしながらも父親の反対にあい、その板挟みとなって自害したと伝えられています。三平が自害した長屋門と土塀の一部が残されており、昭和48年(1973)、大阪府の史跡指定を受けました。

## 萱野三平墓



箕面市萱野の共同墓地内にあるこの墓は、三平の没後39年が経過した元文5年(1740)に伊丹の酒造家で、俳諧・連歌・茶道などに名を残す北河原好昌に嫁いだ三平の姉「おとら」の三男、北河原長好と三平の兄萱野重通の孫重好が建立しました。正面の「萱野三平墓」の文字は書家として著名な黄葉宗の高僧百拙元養、側面の撰文は儒者として有名な「堀南湖」によるものです。

## 茨木市立キリシタン遺物史料館★



大正時代、聖フランシスコ・ザビエル像などのキリシタン遺物が、次々と発見された、「キリシタンの里」といわれる千提寺地区。この地に建つ同館では、下音羽地区で発見されたキリシタン遺物も含め、その一部を公開しています。茨木のキリシタンの歴史や文化に触れていただくことができる展示となっています。  
開館時間▶9:30～17:00 入館料▶無料 休館日▶火曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(その日が日曜の場合は開館)、年末年始 ☎072-649-3443

## 茨木市立文化財資料館★



「銅鐸の鋳型」をはじめ、先人たちが残した貴重な遺産が展示されています。また、茨木城についての展示もあり、茨木市の歴史を知る上で一度は訪れてみたいところです。  
開館時間▶9:00～17:00 入館料▶無料 休館日▶火曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(その日が日曜の場合は開館)、年末年始 ☎072-634-3433